

夢 (ゆめ)

文責 校長 池田 新

— 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 —

1 夏休みが終了して 26 日から 1 学期後半が始まりました

37 日間の夏休みも終わり昨日から 1 学期後半が始まりましたので全校集会を開き、夏休み前に話した「自律心・自主性・自立心」に関する次の質問などによって「夏休みの振り返り」を図りました。

「朝、自分で起きることができていましたか？」

「夏休みの宿題は全て終わることができましたか？」

「楽しい思い出をつくることができましたか？」

「いじめをせずに友達と楽しく過ごすことができましたか？」

「家の手伝いをきちんとすることができていましたか？」

ほとんどの生徒が達成できた項目もあり、川中生の頑張りを感しました。ほぼ全ての項目を達成できた生徒やできなかった項目に正直に答えていた生徒に、夏休みの生活が今後の成長の糧になることを願って次のことを話しました。

- ① 充実した夏休みを過ごせた人は、その成果を【自信】として今後も更に成長できるように活躍してほしい。
- ② 「自律」に課題があった人は、今日を節目として、改善できるように【努力】する意識を持って実践する意欲を抱いてほしい。そして、今後の成長につなげてほしい。
- ③ 夏休み前に自己決定した目標の実現に向けて、学習面・部活動面・挨拶などの礼儀面などに一生懸命に努力して成長できた人は、その調子で【向上】し続けてほしい。
- ④ 目標達成に向けて計画通りに過ごすことができなかった人は、規則正しい生活リズムを取り戻したり終了していない夏休みの課題をできるだけ早めに終了させたりして、今後の学校生活と家庭生活で自分磨きを行う【志】を抱いてほしい。

また、一学期後半に向けて、各学年別に次のことを話しました。

3 年生は、約半年後の進路実現に向けてクラスメートと伸ばしあって「全員合格」を勝ち取ってほしい。

2年生は、中堅として先輩の意思を受け継いだり、リーダーシップを発揮したりして「文武両道」で活躍してほしい。

1年生は、中学校生活に慣れた時期なので個性を発揮して「自分磨き」を充実させてほしい。

最近、部活動に熱心に励んでいる1・2年生、駅伝の練習を猛暑の中に頑張っている1・2・3年生、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と元気よく挨拶ができる川中生を見かける度に、志や夢の実現に向けて頑張っている！と実感します。「**素直な人は大きく成長できます**」もっと伸びしろがある川中生に更なる成長を期待します。

2 明日から「修学旅行」「職場体験学習」「社会見学学習」を行います

3年生は「修学旅行」での喜入石油基地見学・知覧での平和学習・鹿児島市内自主研修・熊本城見学などを通して、鹿児島や熊本地方の自然・文化・歴史・産業・経済などに触れて平和や自然環境について学びます。また、人間関係を深めてクラスの団結を強めたり規則正しい集団生活を通じて社会性や公共心を高めたりすることもめざします。

2年生は「職場体験学習」で、働くことへの意識を高めて望ましい「職業観」や「勤労観」をもつ、職場で実際に汗を流して働く体験を通して自分自身の生き方を見つめて進路選択を考える機会とする、働く人々とのふれあいを通して社会人としてのマナーを学んで人間関係の大切さや人間が生きていくうえでの必要な資質を高めることをめざします。

1年生は「社会見学学習」で、風配高原ファームや山茶花高原の見学を通して、住んでいる佐賀県の職場に興味・関心をもって仕事の苦労ややりがいなどを学習したり命の尊さについて考えを深めたりすることをめざします。

3 「失敗体験で得られる10のメリット」で失敗を成長につなげる

失敗を100%回避することは難しいために「勇気ある挑戦心」を躊躇してしまい、せっかくの成長のチャンスを逃がしてしまうことがあります。失敗すると自尊心が傷付いたり恥ずかしい気持ちになったりしますが、考え方を変えると大きく成長できる貴重な機会だと思っています。

Lifhackの記事「失敗体験で得られる10のメリット」を紹介します。

- ① 知識が得られる。
- ② 創造性が刺激される。
- ③ 粘り強さを学べる。
- ④ 人間性を学べる。
- ⑤ 今後の参考になる。
- ⑥ 新たな発想が生まれる。
- ⑦ 自信に繋がる。
- ⑧ 賢くしてくれる。
- ⑨ 実践的な思考力が高まる。
- ⑩ 自分自身をよく知ることができる。このように、「失敗は成功の基」であり学ぶ機会です。**躊躇せずに勇気をもって挑戦したいものです。**

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます